

～三重県に生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を～

THE 市町支援通信



あすなろ学園市町支援グループは、
途切れのない支援システムの構築を推進しています。

三重県に生まれ育つすべての子どもの発達保障・子育て支援を目指し、あすなろ学園は多くの市町と共働しながら、以下の取り組みを進めています。

- ① 発達総合支援室(保健・福祉・教育の一元化室)・機能の設置
- ② 市町の保健・福祉・教育行政と共働した保育所・幼稚園での早期発見・支援
発達チェック(CLM)と個別の指導計画の普及定着 市町の療育システムの構築
- ③ みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成支援

～年度初めの挨拶～

＜あすなろ学園こどもの発達総合支援室室長 山下 亨＞

今年度より、こどもの発達総合支援室室長になりました。よろしくお願いします。

三重県津市で自閉症治療が始められた50年ほど前に開設されたあすなろ学園は、1985年に県立高茶屋病院(現こころの医療センター)から分離独立し、「三重県立小児(こども)心療センターあすなろ学園」として発足しました。

あすなろ学園の発達支援活動(療育活動)は、当時から入院治療やデイケア・発達支援を通して、発達の観点から入院児や外来児の治療に貢献してきました。2007年には発達障がい児の途切れのない支援を目的に、三重県の市町に「発達障がい支援システムの構築」援助するため、こどもの発達総合支援室に『市町支援グループ』を設置しました。

今年度も、子どもを直接支援する『発達支援グループ』とともに、『市町支援グループ』は、県内市町に対して、①発達総合支援室(保健、福祉、教育などの部署の一元化)・機能の設置、②保育所・幼稚園で行うCLM(チェックリスト・イン・ミエ)と個別の指導計画による早期発見・支援、③みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成を推進し、三重県に生まれ育つ子どもの心身発達や育児支援に貢献したいと考えております。

昨年度まで「療育」と表わしていましたが、この言葉はもともと身体障害の分野から始まったもので、「療」は医療を、「育」は育成を意味しています。本人の持つ発達する力を「支援」する意味をこめて、今年度から「発達支援」と表現を始めました。

市町への巡回指導やCLM研修会が既にスタートしています。みなさまとご一緒に進めていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

みえ発達障がい支援システムアドバイザー総会 開催！！

平成 24 年 4 月 25 日（水）あすなる学園大会議室にて、『みえ発達障がい支援システムアドバイザー総会』を開催し、総勢 25 名のアドバイザーが集結しました。

総会では、CLMと個別の指導計画作成手順DVD視聴、今年度研修会（ザ・夏研修会、ミニ学会 etc）についての協議を行いました。

共にあすなる学園で1年間のアドバイザー研修を受けた仲間として、今年度もお互いの更なる活躍を誓い合いました。



<DVD視聴>



<研修会についての協議>

☆☆☆平成 24 年度 研修者の皆さん☆☆☆

『みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成』として、今年度は 5 名の研修者をお迎えしました！！

《東員町 木村 真清美》

あすなるでの研修は全て新鮮！頭をフル回転させて！？1つでも多くのことを吸収し、地元に戻って活かせるように頑張ります。

《川越町 鈴木 亜由美》

あすなる学園や分校の職員の方々、他の研修者の方々から少しでも多くのことを学び・吸収して、自分の町に戻った時にアドバイザーとして活かせるよう目利き・腕利きの力をつけたいと思います。一生懸命がんばります。

《大台町 北村 千恵美》

みえ発達障がい支援システムアドバイザーを目指し、専門的な知識や技術を身につけ、地元大台町に戻ったら、あすなるで学んだ事を活かせるようがんばります！

《東員町 日沖 優子》

今年度、研修者として専門的な研修を受ける機会をいただき、嬉しく思っております。一年間の研修で、途切れない支援システムの構築や特別支援教育について学び、県の内地留学生として努力していきたいと思っております。

《名張市 千歳 美知代》

アドバイザー研修が始まり毎日たくさんの学びのある日々を送っています。一年間の研修を通して学んだことを地域で活かせるように研修を深めていきたいと思っております。たくさんの方との出会いも大切にしたいです。

「CLMと個別の指導計画」作成手順DVD説明会

～4会場で222名参加～

平成24年5月29日（火）から6月7日（木）にかけて、県内4会場（北勢・中勢・南勢・紀州の4圏域）で、『「CLMと個別の指導計画」作成手順DVD説明会』を開催し、222名が参加されました。

説明会では、講演で「CLMと個別の指導計画」の実施・作成方法について具体的に説明した後、実際にDVDを視聴して頂きました。4会場とも各市町から、保育士・幼稚園教諭・教諭・保健師・行政の方々がたくさん参加され、「CLMと個別の指導計画」に対する理解を深めて頂く良い機会となりました。



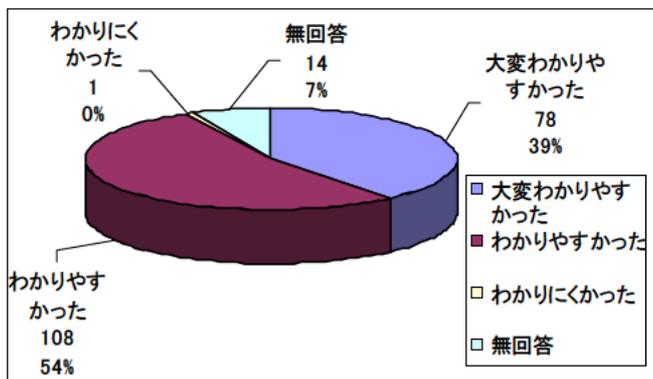
大安公民館（北勢：いなべ市） 5月31日（木）
【78名参加】



多気町民文化会館（南勢：多気町） 6月7日（木）
【71名参加】

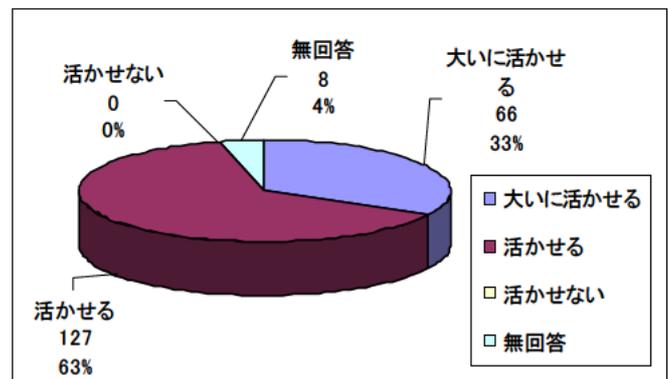
<アンケート結果> [回答者数:201名 有効回答率91%]

DVDはわかりやすかったですか？



「CLM」「個別の指導計画」は

今後の保育や教育に活かせそうですか？



<参加者の声> ～アンケートより～

- ・DVDができたことで研修会に参加できない職員も共通の理解で進めていくことができるので助かる。
- ・気になる子の捉え方や支援方法の参考になった。
- ・わかりやすく規律のある保育をすることで、子どもたちが戸惑うことなく園生活を送れるようにしたい。

～インフォメーション～

*あすなる学園 講演会・シンポジウム

テーマ：「これからの地域子育て支援を考える」

・日時/会場：平成24年8月9日(木)10:00～(開場 9:30) 三重県総合文化センター(中ホール)

・プログラム：第一部 講演会(10:00～11:30)

演題：「あすなるにおける自閉症発達支援の50年—その歴史と課題—」

講師：西田 寿美(三重県立小児心療センターあすなる学園園長)

司会：中島 弘道(三重県立小児心療センターあすなる学園医長)

第二部 シンポジウム(13:00～16:00)

テーマ：「三重県の発達障害支援の現状と未来に向けて」

シンポジスト：稲田 久美子(NPO法人 特別支援教育サポートセンター)

近藤 裕彦(社会福祉法人檜の里 あさけ学園施設長)

高田 明裕(津市立高岡小学校校長)

司会：中野 喜美(三重県自閉症協会会長)

西田 寿美(前出)

・申し込み方法：FAX番号(059-234-9361)へ「所属・職種・参加人数等」を明記の上、8月2日迄にお申し込みください。

*2012 ザ・夏 途切れのない発達支援研修会

「個別の指導計画の立て方 ～途切れのない支援を市町で実現する～」

・日時/会場：<全体講演会>

平成24年8月6日(月)12:30～17:00 津市白山総合文化センター

<圏域別ワークショップ>

平成24年8月20日(月)13:00～16:00 【北勢】いなべ市員弁コミュニティプラザ

平成24年8月21日(火)13:00～16:00 【南勢】多気町民文化会館

平成24年8月22日(水)13:30～16:30 【中勢】津市芸濃総合支所

平成24年8月28日(火)12:30～17:00 【紀州】尾鷲市立中央公民館

*紀州会場のみ講演会とワークショップを同日(8月28日)に実施します。

・プログラム：<全体講演会>

「途切れのない発達支援 ～保育・教育に求められる目利き、腕利き～」

「CLM&個別の指導計画」の作成について

<圏域別ワークショップ>

「個別の指導計画」の作成

・申し込み方法：FAX番号(059-234-9361)へ「所属・職名・名前・希望日・連絡先(TEL/メール)」を明記の上、7月6日迄にお申し込みください。

圏域別ワークショップでは、実際に「個別の指導計画」の作成方法を体験して頂くので、事前に必ず全体講演会(8月6日)にご参加ください。 *紀州会場以外

2012年6月29日

<発行> 三重県立小児心療センター あすなる学園 広報担当：こどもの発達総合支援室 市町支援グループ
〒514-0818 三重県津市城山1-12-3 TEL:059-234-8700 FAX:059-234-9361
MAIL: asunaro@pref.mie.jp URL: http://www.pref.mie.lg.jp/ASUNARO/HP/